

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	北海道・釧路市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	アイヌの伝統文化を活用した阿寒湖温泉活性化事業	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>「釧路市総合計画（平成20年策定）」、「阿寒湖温泉歴史文化交流ゾーン基本構想（平成20年策定）」、さらに、国の認定を受けた「アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし北・海・道／広域観光周遊ルート形成計画（平成27年策定）」、「観光立国ショーケース（平成28年策定）」のモデルケース選定などを踏まえ、地域の“たから”である『アイヌの伝統文化』に親しめる機会の充実や、次世代への伝承・継承、美しい景観・優れた自然環境を活かし、自然やアイヌ文化を体感できる交流の場の形成など、文化振興とともに地域の活性化を推進する。（平成35年3月まで）。</p>			
6 実施体制			
<p>釧路市が、本実施計画にかかる全体の企画調整、各補助事業の指導等を行う。担当課は下記のとおり。 担当課：産業振興部 阿寒観光振興課 また、補助事業は、次の団体が実施する。 実施団体：阿寒湖温泉アイヌ文化推進実行委員会 構成団体：・特別非営利活動法人阿寒観光協会まちづくり推進機構 ・阿寒湖温泉旅館組合 ・一般財団法人前田一步園財団（アイヌコタン用地無償提供者） ・まりもの里商店街 ・幸運の森商店街 ・釧路市（オブザーバー）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 84,298 千円	平成31年度申請額： 4,045 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>1. 想定される効果 市民にとって地域の“たから”である『アイヌ伝統文化』に対する関心や意識の向上が図られるとともに、北海道内外から“たから”が評価されること、さらに観光立国ショーケースとしての発信力強化を活かした国外からの評価獲得により、『アイヌの伝統文化』の魅力や価値などの再評価につながることで、地域の文化遺産の魅力を訪日外国人観光客をはじめとする観光客に対して効果的に発信し、地域の文化遺産を活用した文化振興、地域の活性化を図ることができる。</p> <p>●訪日外国人観光客等に向けたアイヌ古式舞踊の情報発信力強化事業 アイヌ古式舞踊のガイドダンスを記載した多言語標記での案内板による情報発信によって、国指定需要無形民俗文化財であるアイヌ古式舞踊の鑑賞機会を増大させ、訪日外国人観光客をはじめとする観光客に古式舞踊をはじめとするアイヌ文化の独自性、芸術性等の魅力を感じていただくことで、文化遺産の普及とそれに伴う地域の活性化を図ることができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	<p>1. 第70回まりも祭り（10/8～10） 昭和25年、絶滅の危機に瀕していたまりもの保護活動として、阿寒湖の「アイヌ」の人々と「和人」が協力して始まった祭り。道内各地から200名以上のアイヌの人々が集まり、アイヌ式の神事と和人の神事をともに行う特別な祭り。</p>		
事業概要：	<p>2. イランカラプテキャンペーンの推進 アイヌ語のあいさつとして使われる「イランカラプテ」を北海道のおもてなしのあいさつとして定着させ、この言葉をきっかけにアイヌの人々と文化に触れていただくという北海道が行っているキャンペーンを、北海道最大のアイヌコタンがある阿寒湖温泉でも推進。</p>		
事業概要：	<p>3. 阿寒湖および周辺湖沼群の世界遺産登録を目指す活動 マリモの棲む貴重な自然環境を世界遺産に登録されることを目指す活動。（阿寒湖のマリモ保護会との連携）。まりも再生事業の支援（阿寒湖のマリモ保護会との連携）。</p>		

事業概要：	<b>4. 千本タイマツ行進 (9/1～10/31)</b> タイマツをマリモを護るともし火として、湖からアイヌコタンまで観光客の皆様で運び、火の神アペフチカムイにマリモの生育する豊かな自然環境に感謝の祈りをささげる。
事業概要：	<b>5. 氷上フェスティバル (2/1～3/16)</b> 完全結氷した阿寒湖の氷上で凍てつく北海道の冬を楽しく体感してもらうイベント。氷上のステージでアイヌによる清めの儀式、トーチセレモニーの後、氷上で花火の打上げ。ワカサギの天ぷら・ホットミルク等の販売、氷切り体験、カーリング等の氷上アトラクションが楽しめる。
事業概要：	<b>6. ガイドツアー</b> ・阿寒湖温泉教育旅行プログラム「アイヌ文化から学ぶ自然の活用プログラム」 ・阿寒湖の奇跡～マリモ物語クルーズ&ウォーク
事業概要：	<b>7. 商店街活性化事業</b> 商店街の看板類の共通デザイン化の提案とモデル実施を予定。
事業概要：	<b>8. 広域観光周遊ルート形成促進事業</b> アジアからのリピーターや個人旅行者、富裕層、欧米からの個人旅行者、自然や文化ツーリズム層をターゲットに、W i - F i 等の受入環境整備や情報発信・プロモーション等の事業を実施し、訪日を強く動機づける「広域観光周遊ルート」として、海外へ積極的に発信。
事業概要：	<b>9. 観光立国ショーケース事業</b> 多くの外国人旅行者に選ばれる、観光立国を体現する観光地域を作り、訪日外国人旅行者を地方へ誘客するモデルケースを形成する。
事業概要：	<b>10. 阿寒国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム2020</b> 日本の国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてのブランド化を図ることを目標に、地域関係者が連携・協力して、訪日外国人を惹きつける取組を計画的、集中的に実施する。
<b>11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等</b>	
<p>本事業の実施によって、地域が一体となって国の重要無形民俗文化財「アイヌ古式舞踊」の保存・活用を図る機運が醸成され、地域による自主的な継続など各種取組も実践しております。</p> <p>一方で、当市の文化財は、国の特別天然記念物である「タンチョウ」や「阿寒湖のマリモ」などの記念物、有形文化財、民俗文化財が合わせて27を有し、多岐に亘っておりますことなどから、全ての文化財が調査研究実績を十分に有しているとはいえないことや、それぞれの保存活動の母体となる保存会等の有無や活動状況等もさまざまという現状にあります。</p> <p>さらに、自治体の面積が非常に広大であり、移動に要する時間も相当になりますことなどから、合意形成も容易ではない状況にあります。</p> <p>これらのことから、「歴史文化基本構想」の定義である地域に存在する文化財を“的確に把握”することや、“その周辺環境まで含めて総合的に保存・活用する”ための組織体制の整備に、相当の時間を要することが避けられない状況にあります。</p> <p>現在、早期の歴史文化基本構想策定に向け、多岐に亘る庁内関係部署等との認識の共有や諸調整を開始し、当市の文化財に関する調査報告書等の情報収集や整理、文化財に関する保存会等の活動状況の情報収集や整理などの事前準備作業を進めています。</p>	
<b>12 担当部局</b>	
地方公共団体 担当部局課	釧路市 産業振興部 阿寒観光振興課 阿寒観光振興担当

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	阿寒湖アイヌシアターイコロの入場者数			関連事業:		
目標値 1 :	【現状値】 平成 29 年度 53,200 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 55,100 人					
設定根拠 1 :	阿寒湖アイヌシアターイコロ中期計画の目標値による。					
進捗状況 1 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
59,591 人	人	人	人	人	人	
336%						
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	釧路市阿寒地区延宿泊客数			関連事業:		
目標値 2 :	【現状値】 平成 29 年度 629,056 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 735,687 (単位)					
設定根拠 2 :	平成29年度までの毎年度平均伸び率2.0%に対し、2倍の4.0%を設定					
進捗状況 2 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
615,752 (単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)
0%						

